

(福)おうみ福祉会

おうみ作業所

障がいのある人が社会活動に積極的に参加できる社会を実現するための支援に「生活介護」と「就労継続支援B型」があります。今回はそれぞれの支援を行う市内の事業所を紹介いたします。

問 障がい福祉課 TEL (31) 371-1 FAX (31) 3738

お問い合わせ  
電話 (36)7860  
住所 〒523-0058  
加茂町 3819-5

ホームページは  
こちらから



岡山小学校のすぐそばに構える「おうみ作業所」。ここでは生活介護事業を行っており、利用者と職員あわせて70人以上が働いています。利用者のことを「仲間」と呼び、3つの理念を掲げています。今回はこの理念に沿って、施設長の野村さんと支援員の大屋さんに話を伺いました。

理念1

おうみは家族、みんなの  
願いをかなえる場所

おうみ作業所は1987年、おうみ共同作業所として船木町に設立。その後、2002年に現在の加茂町に移転し、今年20周年を迎えました。仲間の願いを真ん中に置くことを大切に、家族や職員の願いもかなえられる作業所にしていきたいと考えています。仲間の仕事は、せんべいの製造や、アルミ缶・銅線のリサイクル事業など、重い障がいがあっても、それぞれにあった仕事に取り組んでもらえるよう支援しています。

生活介護事業とは？

障がい者支援施設などで、入浴や排せつ、食事などの介護が常に必要な人に、その補助や生活の相談を行い、創作的活動や軽作業などの機会を提供したり援助を行ったりする福祉サービス。

理念2

人をまるごと大切に、  
一人のためにやってみる

「仲間の中には、自分の気持ちや不安をうまく言葉にできない人が多く、今何が必要か、ご本人はどう思っているのか、常に考える必要があります」と野村さん。「人をまるごと」は仲間の障がい特性だけでなく、その人の発達・生活・人格などを含めてニーズをとらえ、願いをくみ取ることで考えています。仲間の願いを職員同士で話し合う、複数の視点を大切にしながら、気づきを気軽につぶやける仕掛けを作っています。



インタビューに答える  
野村真愛 施設長

理念3

みんなのハートに  
火をともし作業所

おうみ作業所では、日ごろの事業のほか、長命寺の清掃活動や特別養護老人ホーム「水茎の里」の清掃活動、苗箱洗いやト口箱洗いなど、地域に根ざした活動も行っています。こうした取り組みをする中で、地域の人から「ありがとう」や「頑張ってるね」などと声をかけてもらえることが励みになっています。

今後、第2作業所として「きみいろ」を建設し、その一角にはカフェスペースを設ける予定です。野村さんは「どんな人でも気軽に来られる場所にして、日ごろから地域の人と交流したいです。また、マルシェなどを通じて仲間たちや作業所の魅力も地域に伝え、みんなのハートに火をともししていきたい」と笑顔で話していました。

支援員 大屋さんのとある一日(平日)



送迎



利用者の家などに車で迎えに行き、一緒に作業所に向かいます。

活動



5つの班に分かれて、日課の作業やその補助を行います。

ミーティング



1日の活動・日課の様子を職員のみinnで話し合います。

福祉の仕事に興味をもって、  
障がい福祉の理解が進んでほしいです！



支援員 大屋沙輝 さん

2017年4月に入社し今年で6年目。普段は下請け作業班に所属し、組み立て作業や清掃活動などを行っています。



「利用者さんは自分たちと同じ『仲間』であるため同じ目線で作業をするように心がけています」と大屋さん。支援が指導にならないように、常に尊敬の気持ちを持たないようにしています。また「毎日何か1つ大笑いできるイベントがあり、職員も仲間も、みんなで盛り上がっています」と作業所の魅力を教えてくださいました。印象に残る活動として、岡山小学校3年生との名刺交換を挙げ、「仲間の普段見られない一面も見ることができました。名刺交換の後、子どもたちと手紙の交換が続いています」と話していました。仲間と地域の人などがどうすれば良い関係を築けるかを考えるきっかけになったそうです。